

## I 第8週の発生動向 (2016/2/22~2016/2/28)

1. インフルエンザについては、八戸保健所、東地方+青森市保健所、むつ保健所管内では**警報**が続いています。また、五所川原保健所、上十三保健所管内では**注意報**が続いています。
2. 流行性耳下腺炎については、東地方+青森市保健所管内で第7週から**注意報**が継続しています。
3. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内で**警報**が解除されました。

## II 第8週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	246	18.92	123	8.20	205	13.67	104	14.86	236	26.22	184	30.67	1098	16.89	-122
RSウイルス感染症															-1
咽頭結膜熱			2	0.22	11	1.10	2	0.40	2	0.33			17	0.40	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	2.63	18	2.00	31	3.10	4	0.80	7	1.17			81	1.93	14
感染性胃腸炎	43	5.38	20	2.22	32	3.20	29	5.80	12	2.00	13	3.25	149	3.55	7
水痘	1	0.13			1	0.10	1	0.20	13	2.17	2	0.50	18	0.43	13
手足口病			1	0.11									1	0.02	-1
伝染性紅斑	1	0.13	3	0.33									4	0.10	-3
突発性発しん	3	0.38			4	0.40			6	1.00			13	0.31	2
百日咳															0
ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎	26	3.25							1	0.17			27	0.64	-8
眼科															0
急性出血性結膜炎					3	1.50			2	1.00			6	0.55	-3
流行性角結膜炎	1	0.50													0
基幹															-1
クラミジア肺炎															-1
細菌性髄膜炎															-1
マイコプラズマ肺炎					3	3.00					1	1.00	4	0.67	-2
無菌性髄膜炎															-1
感染性胃腸炎(ロタウイルス)											3	3.00	3	0.50	-5

は警報、は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

## III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市1人、弘前1人、八戸1人 (2016年計:39人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(五類全数把握疾患): 八戸1人 (2016年計:6人)

## IV 病原体検出情報

第7週に掲載したインフルエンザウイルスA/H1pdm09は、全て(弘前9人、八戸3人)オセルタミビル(商品名タミフル)感受性株でした。

# 感染症の窓

## 伝染性紅斑 (五類定点把握疾患)

伝染性紅斑は、頬に出現する紅斑を主症状とする発疹性疾患です。ヒトパルボウイルスB19の感染により両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ(ほっぺ)病」と呼ばれ、例年、年始から7月上旬頃にかけて症例数が増加します。

青森県における定点当たり報告数をみると、むつ保健所管内で2015年第50週から2016年第7週まで(12/7~2/21)、第53週(12/28~1/3)を除き警報が継続していました(図1)。第8週で警報解除となりましたが、今後も発生動向に注意が必要です。

乳児、成人が罹患することもあります。幼少児(2歳~12歳)の発生が多く、2015年第50週から2016年第7週までの青森県における年齢別患者報告数をみても、5歳をピークとする10歳未満の患者がほとんどです(図2)。

4~15日の潜伏期間の後、顔面、特に頬部に境界明瞭な紅斑が出現し、続いて四肢に両側性にレース様の紅斑が出現します。発疹の他に発熱、関節痛などの症状を示すこともあります。予後は通常良好ですが、妊婦では胎児水腫又は流産を起こすことがあります。

頬に発疹が出現する7日~10日位前に微熱や感冒様症状が見られることが多く、この時期にウイルス血症を起こし、ウイルスの排泄量が最も多くなります。紅斑の時期にはウイルスの排泄はほとんどなく、感染力はほぼ消失します。通常は、飛沫又は接触感染なので、特に妊婦などは流行時期には人混みを避け、手洗いを励行することなどが大切です。【参考】厚生労働省HP、国立感染症研究所HP

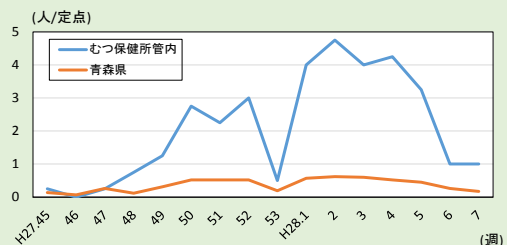


図1: 定点当たり報告数の推移 (2015年第45週~2016年第7週)

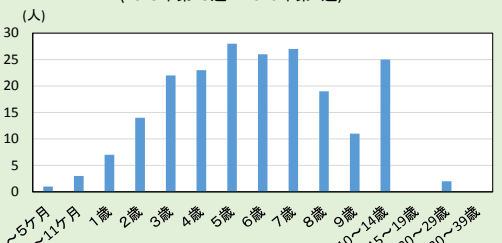


図2: 県内における年齢別患者報告数 (2015年第50週~2016年第7週)

## V 県内インフルエンザ情報

第8週の患者報告数は1098人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは1065人【A型：812人、B型：252人、A型及びB型陽性：1人（八戸保健所管内）】でした。

**警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点**

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

### 保健所管内別届出人数（人）

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8
東地方					2					4	2	7	5	6	7	5
弘前			1			1	8	9	32	62	194	195	212	222	130	123
八戸							2	3	37	217	396	490	399	310	190	205
五所川原								6	14	38	84	84	125	163	119	104
上十三		1			1			1	16	35	89	178	232	264	251	236
むつ						2	11	2	6	24	40	86	159	197	241	184
青森市					1	5	23	14	37	83	264	328	455	481	282	241
合計	0	1	1	0	4	8	44	35	142	463	1069	1368	1587	1643	1220	1098

### A型（迅速診断キットによる型別です）(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8
東地方					1					4	2	7	5	6	6	1
弘前			1			1	8	9	32	61	193	194	208	218	124	103
八戸							2	3	34	215	377	467	354	282	168	181
五所川原								6	14	37	84	82	125	160	117	92
上十三		1			1			1	14	34	80	159	202	208	211	149
むつ						2	11	2	6	22	36	60	98	144	163	122
青森市					1	5	23	12	37	82	252	307	422	453	236	165
合計	0	1	1	0	3	8	44	33	137	455	1024	1276	1414	1471	1025	813

### B型（迅速診断キットによる型別です）(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8
東地方					1										1	3
弘前										1	1	1	4	4	6	20
八戸									3		6	10	10	10	8	15
五所川原												2		3	2	12
上十三									2	1	8	16	22	46	26	74
むつ										2	4	26	61	53	78	62
青森市								2		1	6	9	11	16	38	67
合計	0	0	0	0	1	0	0	2	5	5	25	64	108	132	159	253

### 年齢区分別(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8
～5ヶ月											3	3	5	7	7	3
～11ヶ月									4	7	13	12	26	35	18	16
1歳							1	2	5	23	47	77	82	75	64	46
2歳							1	4	3	16	47	65	89	78	58	45
3歳							1	1	1	17	50	73	90	80	53	58
4歳								1	8	25	63	116	94	94	76	74
5歳							1	2	5	23	76	122	89	111	95	82
6歳							1	1	3	29	70	96	107	101	64	67
7歳					1	2	6	1		13	72	72	103	101	71	55
8歳							4	1	3	14	66	55	87	54	57	62
9歳						1	3		2	7	58	64	79	59	54	50
10～14歳					2		4	1	4	29	99	145	220	201	154	139
15～19歳					1	4	11	3	9	18	42	51	64	68	28	32
20～29歳							1	2	10	35	39	48	57	78	52	41
30～39歳		1					3	6	20	47	68	95	105	157	100	82
40～49歳						1	4	3	18	60	92	103	104	116	84	74
50～59歳							2	2	22	45	65	71	87	91	76	72
60～69歳							1	3	18	32	58	61	57	80	69	37
70～79歳			1					1	5	14	27	26	27	33	27	42
80歳以上								1	2	9	14	13	15	24	13	21

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第51週～2016年第8週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人	レジオネラ症1人				
52	H27.12.21 ~ H27.12.27		水痘(入院例)1人 梅毒1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人	アメーバ赤痢1人		
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		レジオネラ症1人				
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			水痘(入院例)1人	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17			レジオネラ症1人			
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人				
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	アメーバ赤痢1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7						
6	H28.2.8 ~ H28.2.14	デング熱1人	E型肝炎1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 梅毒1人			
7	H28.2.15 ~ H28.2.21				E型肝炎1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	
8	H28.2.22 ~ H28.2.28			カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			

VII 結核(二類全数把握疾患) (2015年第51週～2016年第8週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	2	4	3			1
52	H27.12.21 ~ H27.12.27	2	6	5			
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		1			1	
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	2				1	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17	3	1		1	2	
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	1	3	2	2	1	
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	1	1				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7	2	5	1			
6	H28.2.8 ~ H28.2.14	1				1	1
7	H28.2.15 ~ H28.2.21	2		1	1		
8	H28.2.22 ~ H28.2.28	1	1	1			

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注:発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第7週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	回帰熱	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	2708	20	90	8	2	54	41	1	1	1	30	37	2	3	148	2	165	28	182	147	30	79	170

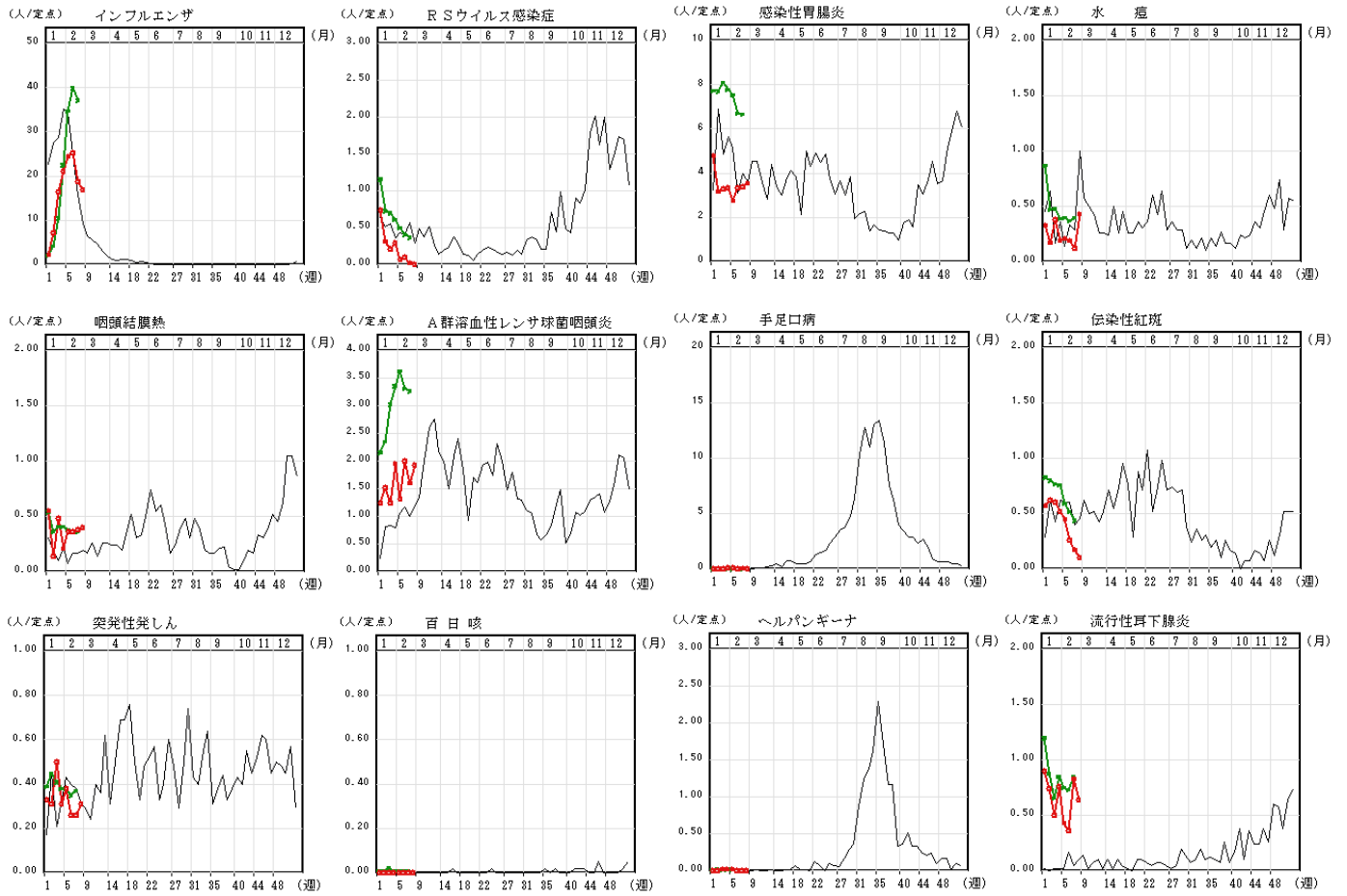
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ジアルジア症	侵袭性真菌感染症	侵袭性真菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネタ菌感染症
累積報告数	9	42	6	408	34	435	16	6	4	6	1	6

青森県 (2016年第1週～第8週累計)

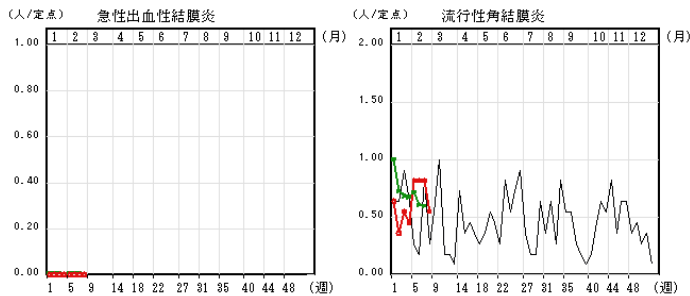
分類	二類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	39	4	1	1	1	6	1	1	1	1

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第8週、但し全国は前週)

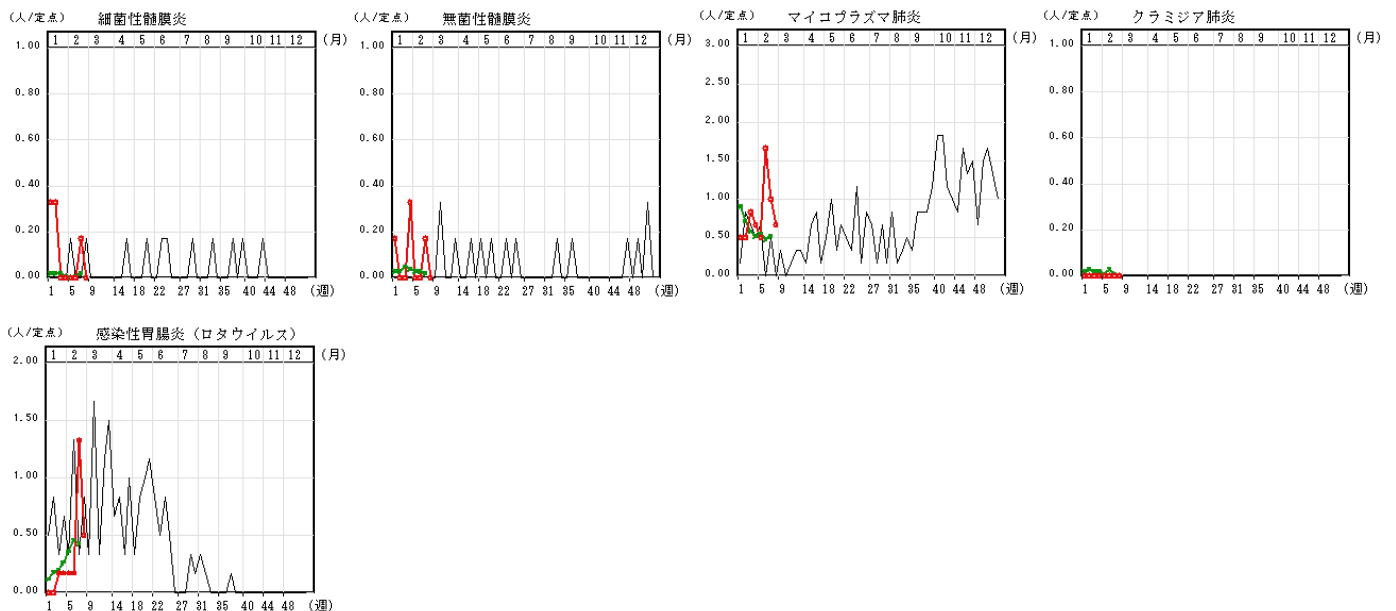
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、×—×は2016年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第8週、但し全国は前週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第8週、但し全国は前週)



### XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

#### 平成28年第8週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第8週	介護・老人福祉関係施設	41	弘前保健所
第8週	児童・婦人関係施設等	10	八戸保健所
第8週	介護・老人福祉関係施設	24	五所川原保健所

#### 平成28年報告件数及び発症者数

施設種別		1月		2月			計 (施設別)
		1-4週	5週	6週	7週	8週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	2	3
	発症者数	0	19	0	0	65	84
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	1	1	2
	発症者数	0	0	0	16	10	26
障害関係施設	件数	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	1	0	1	3	5
	発症者数	0	19	0	16	75	110